

## 令和元(2019)年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	病原性免疫記憶の成立機構の解明 – 難治性炎症疾患の病態の理解へ –
研究代表者	中山 俊憲 (千葉大学・大学院医学研究院・教授) ※令和元(2019)年7月末現在
研究期間	令和元(2019)年度～令和5(2023)年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p>本研究は、生体にとって有害な病原性免疫記憶 Th2 細胞の分化・機能・機能維持のメカニズムを解明することを目的とするものである。レポーターマウスを用いた解析に加え、免疫記憶 Th2 細胞のトランスクリプトーム解析やレギュローム解析、分化の場となる微小環境の病理組織学的解析が計画されている。研究の対象もマウスからヒト検体に及んでおり、病原性免疫記憶 Th2 細胞の包括的理解につながる研究課題といえる。</p> <p>本研究は、病的炎症環境で多様な機能を獲得した病原性免疫記憶 T 細胞が、慢性炎症の形成と遷延化を担うことによって難治性の免疫疾患を引き起こすという独自理論に基づく独創的な研究であり、難治性炎症疾患の病態の理解と新たな治療法の開発に大きく貢献することが期待される。</p>